

【参加者】

委員 贄田浩邦 伊藤敬子 大山美千子 下山千恵子 川井信一 川島 啓 塩沢建樹  
(欠席 永井 春江 石崎 真清)  
学校地域協働推進員 宮川長一  
事務局 鈴木寧子 五月女穰

○授業参観

○意見交換～授業参観の様子から～

- ・とても落ち着いた様子で熱心に授業を受けていたので大変好感が持てた。
- ・成長した姿を見て、安心した。小中一貫もあるので、小学生に中学生の姿を見せてあげたい。
- ・どのクラスも落ち着いて学習している。よい雰囲気を感じました。
- ・生徒の様子を観察しました。どの子も真面目に取り組んでいる、頑張っている様子、明るい様子が良かった。
- ・久々に子どもと顔を合わせられてよかった。生徒は穏やかに過ごせている様子でよかった。美術室の冷房の要望、何とかしてあげたい。
- ・施設の老朽化が気になった。設備扇風機の羽根とカバーがなかった。
- ・美術室にエアコンが設置されておらず、劣悪な環境で学習をしていた。
- ・照明も二昔前の物でLEDライトに変更するとよい。誘導灯バッテリー点検の表示が出ていた。
- ・教室が狭く教室がかなり密の状態だった。収納スペースが少ない。
- ・施設設備については、困っていることはPTAや外部の力を頼るとよいのではないか。
- ・教室のロッカーが、ベコベコしている。重たい物を入れると曲がってしまう。なんとかしてあげたい。グラウンドの整備もなんとかしたい。

○協議

「SNSの課題について」

事務局：協議題設定の理由説明

学校からの提案…SNSのトラブル、使い方について課題に感じている。

- ・スマホ、タブレット…制限は難しく感じる。自分達の子どもの時代ではなかった問題がある。LINE上での勘違いでのトラブルがあったことも事実である。
- ・我々が体験してきていない事例なので、親も経験していないのでどのように対処してよいのか分からない。与える側（保護者）の知識と意識が重要である。
- ・学校ではスマホの持ち込みを禁止している。

## (2) 協議

- ・事件に巻き込まれる子どもが増えている。ニュース記事より。  
夏休みをひかえ、SNSなど事件に巻き込まれないような対策が必要である。  
対策はされているが改善されていない。
- ・家族以外とはSNSをしないようには指導はしている。
- ・SNSに対する親の意識が大切では。
- ・周りが持っているから、友だちのライングループに入れられないから、と言われる。  
SNSでグループを作る。ゲーム、YouTube、NETFLIXなど、好きな物がずっと視聴できるような環境である。
- ・親の意識、考え方を変えなくてはならないのではないか。
- ・使い方を教えてあげればよいのでは。使う側の問題。自分の子どもは大丈夫だろうという考え。
- ・親世代は、自分たちが教えてもらっていないので、教えられない。
- ・保護者が使い方を知らない。スマホに関しては、子どものほうが詳しくなっている。
- ・小学校でもタブレットの使い方が問題になっている。子どもが何を見ているは「見える化」させていきたい。
- ・東小ではSNSに関する講演会をおこなった。
- ・本校のPTA研修部では、教育子育て、怒りのコントロール、不登校などの講話案がでた。
- ・PTAの研修委員でSNS関係の講話をしていただけるような提案を学校側からしていただけるとよい。
- ・LINEのやりとりをしている中で、変な方向へ進みそうなときに「だめだ!」と言ってくれる人が、SNS上にもいる。学校では、そういう「だめなものだめ」と言ってくれる仲間づくりをできるようにすることが大切ではないか。信頼やつなごを培っていけるようにすればいいのではないか。
- ・健全の子はブレーキをかけることができる。人格育成。健全育成。
- ・スマホは防げない。何かあってから指導するのではなく、常にSNSに関する情報を学校から発信してもらおう。年に一回は、講師を呼んでSNS関係の情報を常に更新できるようにしていくことが大切ではないか。
- ・改めて、保護者側がSNSに対する真剣な考えが必要。PTA学校側でできることがあれば、スタートさせていきたい。

事務局より

- ・今度いただいたご意見を参考にして、校内で対応を検討していく。

宮川先生より

公民館へ中学生に足を運んでもらう取組、学びサロン 土曜日に2人ぐらい来ている。公民館土曜日 13:00~16:00使える。生徒専用として使用できる。  
ふくべ細工を行う。作品展示を公民館で実施する予定。